



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2006. 4月号

「コレクションで見る博物館 30 周年」展

収蔵室から展示室へ



「開館 30 周年記念展」

第 3 期 「コレクションで見る博物館 30 年」展

期間：4 月 8 日 (土) ～ 5 月 14 日 (日)

休館日：月曜日

会場：特別展示室 入場自由

採集・発掘・寄贈などさまざまな方法で博物館に集められた資料は、分類整理され、収蔵室に収められています。それらの資料は、一つのテーマにそって数と内容がそろってくるとコレクションと呼ばれるものになります。

今回の展示では、人文自然各分野で 30 年間の活動の中で形作られてきたいくつかのコレクションを紹介します。

「展示予定資料」

- 考古：縄文土器作り作品ほか
- 歴史：高瀬コレクションほか
- 民俗：写真で見る平塚の道祖神
- 生物：虹ヶ浜の貝と海の動物ほか
- 地質：大磯丘陵の化石・丹沢の岩石
- 天文：太陽黒点のスケッチ・プラネタリウム原画



「学芸員発表会」

日時：4 月 15 日 (土) 午後 1 時～ 4 時

場所：講堂 (入場自由)

各分野の学芸員が日頃調査をしていることの一部を紹介します。

内容：セミのぬけがら調査の意義と課題 (生物)・水に棲むダニ (生物)・平塚の活断層 (地質)・太陽黒点の増減 (天文)・プラネタリウムの 30 年 (天文)・最近の遺跡調査から (考古)・片岡村の報徳仕法 - 幕末の村おこし (歴史)・平塚のサエノカミ (民俗) (順不同)



Jr. 向け行事が目白押し

開館30周年展記念イベント **博物館こどもフェスタ**

5月6日(土)・7日(日)

博物館は昭和51年5月1日に開館し、間もなく30歳の誕生日を迎えます。その記念日に近い6日と7日に、こども向けの行事を盛りだくさんに開催します。これほどたくさんの行事を一度に開催するのは博物館始まって以来。どうぞ、ご家族連れで、また、お友達同士誘いあわせてご来館ください。下のプログラムを見て、面白そうな催し物にどんどん参加してみてください。どの催し物も参加自由で、申込は不要です。きっと楽しくためになる体験ができることでしょう。

5月6日(土)の催し物

催し物	場所	午前	午後	夜間
①身近な石材調べ	文化公園	10:00 ~ 11:00		
②火おこし対決!	屋外展示場		13:00 ~ 14:00	
③コースターづくり	科学教室		13:00 ~ 15:00	
④ろばたばなし	1階展示室		13:20 ~ 13:50	
⑤お祭り太鼓体験	屋外展示場		14:00 ~ 16:30	
⑥小学生クイズ大会	講堂前		15:00 ~ 16:00	
⑦星を見る会	屋上			19:00 ~ 20:30

5月7日(日)の催し物

催し物	場所	午前	午後	
⑧縄文土器拓本	科学教室	10:00 ~ 12:00		①身近な石材調べ 6日10時~11時。文化公園内に使用されている石材を観察して歩きます。 ②火おこし対決! 古代人vs太陽エネルギー 6日13時~14時。古代舞割り式と、レンズに集めた太陽光とで発火の早さを競う。 ③コースターづくり 6日13時~15時。水辺に生えているアシを編んで、この世にひとつだけのコースターを作ります。 ④ろばたばなし 6日13時20分~13時50分と7日10時20分~10時50分の2回。1階展示室「相模の家」で昔話を語ります。
⑨わら草履づくり	屋外展示場	10:00 ~ 12:00	13:00 ~ 15:00	
④ろばたばなし	1階展示室	10:20 ~ 10:50		
⑩おもいでなつ	2階展示室		13:00 ~ 13:30	
⑪太陽を見よう	屋上		13:00 ~ 14:00	
⑫漂着物クラフトづくり	科学教室		13:00 ~ 15:00	
⑤お祭り太鼓体験	屋外展示場		13:00 ~ 16:30	
⑥小学生クイズ大会	講堂前		15:00 ~ 16:00	
⑬地模型と遊ぼう	1階地模型	9:00	~ 17:00	

- ⑤お祭り太鼓体験 6日14時~16時30分と7日13時~16時30分。初めての人も叩ける人も思い切り太鼓を鳴らしてみよう。
- ⑥博士は君だ! 小学生クイズ大会 6日と7日の15時~16時。小学生各10人で競う。ささやかなオリジナル景品がもらえるぞ。
- ⑦星を見る会 6日19時~20時30分。閉館後は博物館の屋上で天体観察ができる。テーマは「月と土星を見よう」。
- ⑧縄文土器の拓本作り 7日10時~12時。縄文土器の文様を拓本にとって持ち帰ろう。
- ⑨わら草履づくり 7日10時~12時。自分サイズのわらじを作ろう。
- ⑩平塚空襲の紙芝居「おもいでなつ」 7日13時~13時30分。2階展示室「昭和のくらし」前にて、平塚空襲の体験をお伝えします。
- ⑪太陽を見よう 7日13時~14時。屋上の望遠鏡で太陽を観察します。
- ⑫漂着物クラフトづくり 7日13時~15時。虹ヶ浜海岸に打ち上げられた貝殻や流木を使って、アクセサリーや飾り物を作ります。
- ⑬地模型と遊ぼう 7日9時~17時。展示解説ボランティアの会のメンバーが1階地模型の“遊び方”を伝授します。

4月～5月のプラネタリウム投影 こと座物語（復刻版）

期間：4月15日（土）～5月28日（日）



毎週土・日曜日 11時、14時投影開始
* 5月6日（土）午後の回を除きます

博物館開館30周年を記念して、「こと座物語」を復刻して再投影します。

「こと座物語」は1991年に制作し、同年夏休み期間に投影しました。名手オルペウスの琴が天に昇り星座になったという有名なギリシャ神話を題材にしています。オルペウスと最愛の妻エウリュディケーの悲恋に、語り手としてオルペウスに思いを寄せる妖精を配し、運命に立ち向かう恋人たちの思いを際立たせます。1992年の日本プラネタリウム研究会での発表で好評を博し、まちだ東急スターホールでも投影された名作です。

17年度博物館実習の作業で、投影テープのコピーを発見、データ化し、再投影が可能になりました。静止画で展開する演出や画像技術はさすがに少々レトロな感もありますが、ストーリー性や台詞の輝きはいまも失われていません。涙を覚悟してごらん下さい。

30周年記念展では、この投影のスライド原画の他、制作過程を如実に物語る絵コンテ、脚本、撮影メモなどをあわせて展示します。

ミニ文化祭

雑木林に行ってみませんか？

秦野市弘法山をフィールドに動植物の観察と調査を続けている研究室による発表です。かつては薪や炭を作る場所として人による手入れで維持されてきた雑木林の姿は、近年大きく変わってきています。その変化は、そこを生活の舞台にしている動植物の分布や種類にも大きな影響を与えています。今回の展示では、弘法山の四季の生きものごよみを中心に、雑木林の今昔がやさしく紹介されています。里山の保全活動に参加している大学生たちの感想もぜひお読みください。

東海大学教養学部藤吉研究室
期間：3月15日～4月30日



※ ミニ文化祭とは・・・ ミニ文化祭は2階の情報コーナーを用いて、若い世代の方々の調査や研究の成果を紹介するものです。今までに、東海大学・日本大学・向上高校の研究室やサークルの方々に協力を頂いて展示を行いました。今後も、小学生から大学生までの作品展示の希望を受け付けていきますので、平塚や相模川流域の地域について調べている方がおられましたら、ぜひご連絡ください。

博物館カレンダー

2006年4月の行事

1	土	☆	寄贈品コーナー「新資料展」～ 4月30日	寄贈品コーナー
		☆	4月の星空ナビ	プラネ
		◎	博物館まつり発表会	講堂
2	日		平塚の古代を学ぶ会	特研究室
6	木	○	展示解説ボランティアの会	特研究室
7	金		古文書講読会	講堂
8	土	◎	漂着物を拾う会 地質調査会	虹ヶ浜・科学室 屋外
9	日	○	水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
13	木		石仏を調べる会	特研究室
14	金		古文書講読会	講堂
15	土	◎	天体観察会 学芸員発表会 プラネタリウム「こと座物語」～ 5月28日まで	屋上・科学室 講堂 プラネ
16	日	◎	相模川の生い立ちを探る会 ろばたばなし	科学室 民家
19	水		民俗探訪会 裏打ちの会	特研究室 科学室
20	木	○	展示解説ボランティアの会	特研究室
21	金		古文書講読会	講堂
22	土		古代の生活を学ぶ会 平塚の空襲と戦災を記録する会 地域史研究ゼミ 地質調査会 星まつりを調べる会	科学室 講堂 講堂 特研究室 特研究室
23	日	○	ツバメ調べ(ガイダンス)	科学室
27	木		石仏を調べる会	特研究室
28	金		古文書講読会	講堂
29	土	◎	天文講演会「はやぶさの成果」	講堂

2006年5月の行事

3	水	☆	寄贈品コーナー「加藤あき植物 画展」～6月6日	寄贈品コーナー
6	土	◎	平塚の古代を学ぶ会 博物館こどもフェスタ	特研究室 館内外
		☆	星を見る会	
		☆	5月の星空ナビ	プラネ
7	日	◎	博物館こどもフェスタ	館内外
11	木	○	石仏を調べる会 展示解説ボランティアの会	長持 特研究室
12	金		古文書講読会	講堂
13	土	◎	漂着物を拾う会 ひらつかの伝承文化を記録する 会	虹ヶ浜・科学室 特研究室
14	日		地質調査会	屋外
17	水		民俗探訪会 裏打ちの会	特研究室 科学室
18	木	○	展示解説ボランティアの会	特研究室
19	金		古文書講読会	講堂
20	土		相模川の生い立ちを探る会 天体観察会	山北町 屋上・科学室
21	日	◎	古代の生活を学ぶ会 ろばたばなし 天体観察会 ○水辺の楽校生きもの調べの会	科学室 民家 月光天文台 屋外
25	木	○	展示ボランティアの会 石仏を調べる会	特研究室 野外
26	金		古文書講読会	講堂
27	土		平塚の空襲と戦災を記録する会 地域史研究ゼミ 星祭を調べる会	講堂 講堂 野外
28	日	◎	地質調査会 プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	科学室 プラネ

<展示とプラネタリウム>

☆30周年記念展 第3期 コレクションで見る30年
さまざまな資料を通じて30年の館活動を紹介します。
会期：4月8日(土)～5月14日(日) 会場：特別展示室

☆学芸員発表会
博物館学芸員が、日頃調べているテーマについて発表します。
館の調査・研究活動を知るチャンスです。
日時：4月15日(土)午後1時～4時
会場：博物館講堂 入場自由

☆春のミニ文化祭
「雑木林の現状と今後について」
東海大学教養学部藤吉研究室
期間：4月30日(日)まで 場所：2階情報コーナー

☆寄贈品コーナー「新資料展」
平成17年度に寄贈された資料を展示します
期間：4月30日(日)まで

☆プラネタリウム
◎「こと座物語(複製版)」
開館30周年を記念して、1991年制作・投影した名作を再投影し
ます。名手オルペウスの琴が星座になるまで。
投影日：4月15日～5月28日の土・日の午前11時と午後2時
観覧料：100円(中学生以下無料)

◎「4月の天文現象」
毎月第一土曜日午後は、当月の天文現象を紹介・解説します。
投影日：4月1日(土)午後2時
観覧料：100円(中学生以下無料)

☆：展示(無料)、プラネタリウム(観覧料)、○：申込制、◎：自由参加、無印：年間会員制

<参加者募集>

◎漂着物を拾う会
海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考え
ます。
日時：4月8日(土)午前9時30分～11時
場所：平塚虹ヶ浜海岸
参加：自由(初めてのの方は往復はがきで申し込むこと)

◎ろばたばなし
民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。
日時：4月16日(日)(1)午後1時20分～(2)午後3時～
場所：展示室民家

◎みんなで調べよう「ツバメの巣調べ」
市内を分担してツバメの巣のありかを調べます。昨年度の続
きですが新しい参加者も歓迎します。今年は主に市の北部や西
部を中心に調査をおこないます。
日時：4月23日(土)13時～15時 ガイダンス
7月16日(日)13時～15時 まとめ
申込：4月10日(日)までに往復はがきで博物館へ

◎天文講演会「地球接近天体と探査機はやぶさの成果」
共催：NPO法人日本スペースガード協会
日時：4月29日(土)午後2時～4時
参加自由(当日プラネタリウム室へ)

あなたと博物館 32巻1号 通算352号 発行 平塚市博物館 2500ホームページのアドレス
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949 かわりました!
E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/